

<報道発表資料>

令和7年6月2日

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

「第5回 京都文学賞」作品の応募状況

京都市では、文学の更なる振興や「文化都市・京都」の発信等に寄与するため、令和元年度から「京都文学賞」を実施しています。

第5回京都文学賞については、令和6年度及び7年度の2か年をかけて実施しており、昨年の8月1日から作品を募集し、今年5月9日の締切りまでに、298件の御応募をいただきました。今後は、一次、二次、最終選考を経て、来年1月頃に受賞作を発表します。



アートワーク／千葉雅也 ビジュアルデザイン／赤井佑輔

<作品の応募件数について>

一般部門	中高生部門	海外部門	合計
256件	31件	11件	298件

● 参考：前回募集時の応募件数

一般部門	中高生部門	海外部門	合計
304件	25件	7件	336件

● 最終選考委員からのコメント



いしい しんじ（作家）

京都文学賞のことを頭に描いた瞬間、みなさんひとりひとりの中に、物語の種が植えられます。時間という光と水をたっぷり注ぎかけて、さんさんと言の葉を繁らせた、あなただけの樹木を育ててください。この世にひとつだけの果実の味を、こころから楽しみにしています。



撮影：若木信吾

西 加奈子（作家）

作者であるあなたが見せてくださる色とりどりの京都に出会えることを、心から楽しみにしています。楽しんで書いたとしても、苦しんで書いたとしても、とにかく何であれ、あなたにしか書けない京都に、全力で向き合う所存です。



めんじょう
校 剛（作家・評論家）

いよいよ二年に一度の選考が始まります。今年も全部門合計で 300 篇近い応募数となりました。本賞がすっかり文芸の世界に定着していることを実感しています。「京都を舞台に、あるいは題材にする」という規定に対して、今年はどんな工夫を凝らした作品を読ませてくれるのか、期待が高まるばかりです。

<参考：第5回京都文学賞の作品募集概要>

- 募集期間 令和6年8月1日（木）～令和7年5月9日（金）
- 募集作品 京都を題材とする未発表の「小説」（ジャンル不問）
- 応募区分 「一般部門」「中高生部門」「海外部門」の3部門（プロ・アマを問わない）
- 応募規定
 - 一 般 28,000 字以上 160,000 字以内
 - 中高生 400 字詰(20 字×20 行)原稿用紙換算で、20 枚以上 150 枚以内
 - 海 外 8,000 字以上 60,000 字以内
- 賞の内容
 - 一 般 最優秀賞 1 点：賞金 100 万円、出版化
 - 優秀賞 1 点：賞金 50 万円

中高生 最優秀賞 1 点：図書カード 10 万円分
 優秀賞 1 点：図書カード 5 万円分
 海 外 最優秀賞 1 点：賞金 10 万円
 全部門 読者選考委員賞 1 点（副賞なし）

<参考：受賞作の出版化について>

京都文学賞の受賞作のうち、以下の作品については、これまでに協力出版社から書籍を刊行（予定を含む。）いただいております、今回も受賞作の出版化を目指してまいります。

回	部門・賞	作品名	作者名	出版社	刊行月
1 回	一般 最優秀賞	羅城門に啼く （「もう森へは行かない」改題）	松下 隆一	新潮社	R2.11
	一般 優秀賞	屋根の上のおばあちゃん （「太秦ー恋がたき」改題）	藤田 芳康	河出書房新社	R2.11
2 回	一般・海外 最優秀賞	鴨川ランナー	グレゴリー・ ケズナジャット	講談社	R3.10
3 回	一般 最優秀賞	ビボウ六 （「備忘六」改題）	佐藤 ゆき乃	ちいさい ミシマ社	R5.11
	中高生 最優秀賞	ちとせ （「闇に浮かぶ浄土」改題）	高野 知宙	祥伝社	R4.11
4 回	一般 最優秀賞	危険球	木住 鷹人	早川書房	R6.10
	一般 優秀賞 読者選考委員賞	今日も私は、ひとつの菓子を （「一菓」改題）	高田 充	淡交社	R7.6 （予定）

<今後のスケジュール>

令和 7 年 6 月上旬～ 一次選考（書評家等の専門家）
 7 月下旬 一次選考結果発表
 7 月下旬～ 二次選考（読者選考委員）
 9 月下旬 二次選考結果発表
 1 1 月下旬 最終選考会（いしいしんじ氏、西加奈子氏、校條剛氏、読者選考委員の代表等）
 令和 8 年 1 月中 受賞作の発表、表彰式

<お問合せ先>

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課
 電話：0 7 5 - 2 2 2 - 3 1 1 9